

ロハスパッカーズ通信

定期報告 3 月 2 回目 -3、4月キリスト教色の強いグアテマラ-

文責：吉川

3月、4月ここグアテマラではキリスト教色が強くなってきた。
理由は、4月に行われるセマナサンタ（聖週間）。日本ではあまり馴染みがないが、キリスト教が浸透している国では **Easter** と呼ばれ、キリストの受難を再現する週間として、世界各国で祝われている。しかし、ここ中米のセマナサンタは他国と少し異なる。

セマナサンタの一ヶ月前から各地でお祭りが開催され、セマナサンタ間期間中（今年は4月2日～8日）は15世紀から毎年、新約聖書に記述されているキリストの死、復活が、お祭りによって各地で再現される。今回の記事で紹介させて頂きたいのは、中米一美しいといわれるグアテマラ・アンティグアのセマナサンタ。

【アンティグアのセマナサンタ】

例年セマナサンタ期間中、アンティグアの町には世界各国から観光客が訪れる。理由は、特徴的なアルフォンブラ（絨毯）が街のあちらこちらに作られること。人々はキリスト教の死と復活が異なる形（アートとしてのアルフォンブラ）に表現される様子を見るため集まってくる。アンティグアの主要道路すべてが、このアルフォンブラで埋め尽くされ、キリスト教を信仰する多くの人はこの日ばかりは家族総出でアルフォンブラ作りを行う。



※家の前でアルフォンブラ作りをする家族。期間中、毎日このアルフォンブラ作りに取り掛かっているそうです。



※アルフォンブラ作りをする大学生。木の屑や、お花を使って、こちらのアルフォンブラ作りに取り掛かっています。

さて、こちらの美しいアルフォンブラですが、作るだけではありません。こちらはしっかりと聖週間の行事にあわせて人々が協力して作ります。

期間中、プロセション（聖行列）と呼ばれる、キリストが処刑される日の様子を再現し、皆でその苦しみを分かち合うというイベントがあります（期間中複数のこういったイベントがあります）。セmanaサンタ行事はここからが終盤です。プロセションを行う人々が町のあちこちで伝統衣装をまとい、アルフォンブラの敷かれた道路へやってきます。



※プロセションを行う人々の行列

さて、ここからがイベントの終盤。せっかく作った美しいアルフォンブラが、プロセションを行う人々によって踏みつけられていきます。



※プロセッションによって踏みつけられるアルフォンブラ

プロセッション前まで美しく敷かれた絨毯が、ことの五分で姿・形をかえ、イベントが終わります。



※プロセッション後、アルフォンブラの残骸を片付けるスタッフ

こういった形でアンティグアでは毎年プロセッションが行われます。一味違うイースターの祭典セマナサンタ。詳細は下記の動画に収録しています。



URL:

<http://www.youtube.com/watch?v=ZFux1W6v4k8&list=UUdbMhUEuWQ-uRfUNKXAKyhQ&index=20&feature=plcp>